

3年
学年だより
第3号

Shining!!

令和7年6月6日(金)
かほく市立河北台中学校
校長 竹内 幸明
学年主任 廣谷 玲江

学んだことを発信しました！

5月に実施された修学旅行では、5月中旬としては暑い3日間になつたものの、大きなトラブルもなく全行程を終了することができました。生徒一人一人が自分の体調や水分補給を心掛け、デブソリ体調に注意しながら過ごすことができたからこそだと思っています。

本当に良い表情で過ごしていました。思い出に残る3日間でしたが、楽しいだけではなく、京都の伝統や文化、世界のSDGsの取り組みなど学ぶことも多くありました。さらに、修学旅行記の発表会を行うことで、お互いの学びを共有し、理解をさらに深めました。



～修学旅行記（抜粋）～

▶01 京都巡り

伏見稻荷
<千本鳥居>
・世界各国から寄付
<おもかる石>
想像以上に重い⇒もう少しがんばれ、軽い⇒その調子という意味

シンガポールパビリオン「ゆめ・つなぐ・みらい」
自然を大切にしている国
ヘリテージツリー（歴史と関わりのある木を保護する制度 シンガポールができる前からある木も）
2030年までにさらに100万本の木を島内に植える
住民の約80%が公営住宅に住んでいる
都会と動植物との共生
15 SDGs
う国民の夢を叶えていく

いろいろな国いろいろなSDGsがあった
日本の地域や文化の魅力を知った
全く違う方向からテーマの「いのち輝く未来社会のデザイン」が表現されていた

万博
スイスパビリオン
・ロボガミ
⇒伸縮型のロボットアーム
日常生活・製造業・ヘルスケアの現場・宇宙探査に活用できる
⇒作業効率up
・食用ロボット
⇒使わなくなったロボットを破棄×
⇒食べられる=食料問題の解決策

まとめ
まとめ・ふりかえり
京都は観光客を集めるために看板の色を落ち着いた色に変えている→金沢の集客方法のアイデアを考えたい
大阪万博で各国の未来に向けたアイデアは便利で面白いものばかりで将来への想像力や期待感が強まつた
どこの見学地でも沢山の人に助けてもらつた→今回の体験に感謝して次は自分が助けられるようにしたい！

まとめ
京都では実際に観光地を回ったり、外国人観光客と話したりすることで座学だけでは学べないリアルな体験をすることができた。また、観光地の物価という面でもリアルを体験することができた。
大阪万博ではいろいろなパビリオンを見て回ったことで各国の文化を学び、世界に対する見聞を広げることができたし、各国の歴史から最新文化まで見ることができた。
USJではアトラクションに乗ったり、お土産やカチューシャを買ったりして楽しかった。USJ中はとにかく楽しむことで精一杯だったので学習のことなんて何もないです。

～総合的な学習～修学旅行記発表会

修学旅行で学んだSDGsは障害者や外国人のための工夫がされており、リサイクルに取り組んでいたりするところが多かったです。そこで自分ができることを考えました。すると、物を買うときに必要かどうかをしっかり考えたり、生活面では地域の文化や伝統にもっと目を向けたりしていきたいと思いました。また、大切なのはこれからの世界を想像することだと思ったので、皆さんも理想を現実にするためにSDGs界隈に参加しませんか。



京都では、八つ橋のお店が、皮が破れたり餡がつぶれたりしたものなど、商品として売ることのできないものを試食用にして、食品ロスを減らすなどのSDGsの取り組みに気づくことができました。万博ではスイスパビリオンのテクノロジーやEUパビリオンの地球温暖化に対する取り組みなど、それぞれの特色や魅力を学ぶことができました。

京都ではすき家やスタバ、交番など歴史的な風景に隠れている建物を見つけることができました。また、今までの神社に対する考え方方が変わりました。大阪万博ではいろいろな国最先端の技術を見ていろいろな未来を想像できました。いつかかなう可能性を感じてワクワクしました。



万博のブルーオーシャンパビリオンのテーマは「海の蘇生」で、水の循環を表す装置や巨大球体スクリーンで海洋問題についての動画を見ました。そこで、人間も水や食物を通して多くのプラスチックを摂取しているということを知り、海洋プラスチックの問題は深刻だということを学びました。だから、今後はリサイクルをたくさんしようと思いました。



万博のドイツパビリオンでは、「循環経済」というテーマのもとに、菌糸の壁という素材が紹介されていて、これは再利用できることや、2035年までに、クリーンエネルギー使用100%を目指していることが分かりました。あと5~6年でSDGsの目標にあったような世界が実現されるということを実感しました。これから、この未来が絶対来るように、自分もSDGsに取り組んでいきたいです。

(実行委員として)修学旅行を通して、時間を見て余裕をもった行動をすることや協調性を持つこと、相手を尊重することが大切だと思いました。スローガンの「活発笑陽系」については、ほとんどの人がいい思い出をつくれたということで、笑顔で活発に活動できたと思います。学年全体を笑顔につなぐということも、ルールを守り、よい修学旅行で終わることができたことから達成できたと思います。

